

< 研究主題 >
主体的・対話的に学ぶ児童の育成
 ～深い学びにつながる「対話」の工夫～

1 単元名 登場人物の変化を中心に読もう 教材名 「プラタナスの木」

2 単元の目標

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。
- 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりを結び付けて具体的に想像することができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

3 単元について

本教材は、子供たちと同じ小学4年生の物語である。三人称限定視点で、物語は進んでいく。

1場面のマーちゃんたちは、プラタナスの木について興味はない。興味があるのはサッカーである。サッカーができるから、この公園に来ているのである。

しかし、2場面から、マーちゃんの気持ちは少しずつ変化する。おじいさんの話により、木が公園全体を守っていることを知る。祖父母の家の近くにある森、そして台風により、木がずっと昔から森全体を守っていること、祖父母の家を守っていることに気付く。最後に、切られたプラタナスの木により、自分たちが幹や枝や葉っぱの代わりをしようと思うようになる。つまり、物語の最初から、マーちゃん達の気持ちは変化しているのである。よって、本教材は、登場人物の気持ちの変化を読む学習に適している。

なお、本教材の構造は以下のとおりである。

「プラタナスの木」

物語の構造

登場人物

◆物語の中で、人間のように話したり、考えたり、行動したりする人や物や生物。
 マーちゃん、花島君、クニスケ、アラマちゃん、おじいさん

中心人物

◆物語の中で、考えが大きく変わった登場人物
 登場人物 主題と大きく関わる登場人物
 マーちゃん（花島君、クニスケ、アラマちゃん）

対役

◆中心人物の考えを変えた登場人物
 おじいさん。しかし、この物語では、祖父母の姿で過ごした夏、台風切られたプラタナスの木も、マーちゃんの考えを変えたことに大きく影響している。

話者

◆語り手
 三人称限定視点。話者は、マーちゃんの心の中にだけ入り込み、物語を進めている。

クライマックス

◆中心人物の考えが大きく変わった場面
 この物語は、クライマックスが明確ではない。ごんぎつねのように、考えが突然大きく変わる物語ではない。
 おじいさんの話、祖父母の家で過ごした夏、台風切られたプラタナスによって考えが変わっている。つまり、徐々に変わっている。



一場面

プラタナスの木に興味がないマーちゃんたち。
 水飲み場があるのも助かるけれど、何よりうれしいのは、この公園では、時間によってボール遊びができることだった。6ページ 3目

二場面

プラタナスが公園全体を守っているのを知ったマーちゃん。
 だから、このプラタナスの木が公園全体を守っていると、いつてもいいくらいだ。7ページ 2目

三場面

木が森全体や祖父母の家を守っているのに気付いたマーちゃん。
 森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。6ページ 2目

四場面

プラタナスの木が切られたことを知るマーちゃんたち。
 プラタナスの木がなくなっている、というのだ。放課後、四人はプラタナス公園に走った。7ページ 5目

五場面

プラタナスの木のみきや枝の代わりとなるマーちゃんたち。
 それまでは、ぼくたちがみきや枝や葉っぱの代わりだ。8ページ 5目

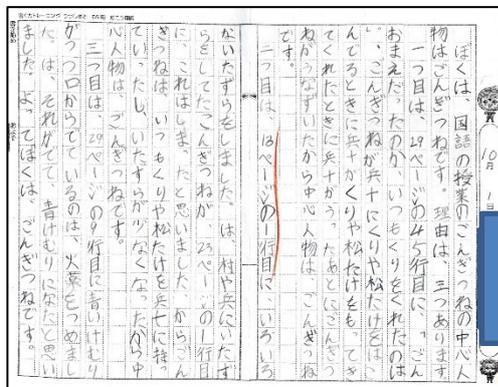
主題

自然は尊いものであり、自分たちで守らないといけない。
 4年生で、この主題まで気付かせることは、とても難しい。自然は大切、自然はすばらしい、ぐらいいてもよいのではないか？

本学級の子供たちは、「ごんぎつね」で登場人物の気持ちの変化を読む学習をしている。中心人物は誰か、ごんの気持ちはどこで変化したのか、兵十の気持ちはどこで変化したのか、を読み取った。主体的な学びにつなげるために、教師がなるべく発言せずに、子供同士で話し合い、検討し、読み取るようにさせた。その後、意見文を書かせた。

叙述を基に、自分の意見を書いた子供は、以下である。

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| ○ページの○行目と書き、自分の意見を書いている。 | できている 32名 できていない 0名 |
| 「 」を使って引用している。 | できている 29名 できていない 3名 |
| 発言した友達の意見を引用している。 | できている 21名 できていない 11名 |
| 辞書で調べた言葉を引用している。 | できている 2名 できていない 30名 |



○ページ○行目と書き、登場人物の気持ちの変化を捉えようとした子供は、32名全員である。また、引用の「 」も多くの児童が使っている。なお、令和4年度の全国学力学習状況調査・中学国語で、引用に関する問題が出された※下の資料。正答率は46.5%であり、高い正答率とはいえない。引用は大事であるものの、なかなか身に付かないようである。本単元においても、叙述を基にした意見をもたせるために、繰り返し引用を指導する。

令和4年度 全国学力学習状況調査 分析(中学国語) No.1 林健広(山口県)

〈誤答例の分析と課題〉
上記のように解答した生徒は、【農林水産省のウェブページにある資料の一部】(左資料)から情報を引用するにあたって、かぎカッコ(「 」)でくくることができていない。また、引用箇所をかぎカッコ(「 」)でくくることができていても、文章をそのまま抜き出すことができていない生徒もいた。これらの生徒は**引用の仕方を正しく理解していない**と考えられる。

正答率は
46.5%

間違えた生徒は、
①「 」でくくって引用しなかった。
②「 」でくくったものの、
文章をそのまま抜き出さなかったのである。

国立教育政策所は「これからの生徒は引用の仕方を正しく理解していないと考えられる」としている。

令和4年度 全国学力学習状況調査 分析(中学国語) No.2 林健広(山口県)

なぜ、引用を出題したのか？

設問三
趣旨

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容
〔第1学年〕 知識及び技能
② 情報の扱い方に関する事項
イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 《情報の整理》
〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと
ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 《考えの形成、記述》

■評価の観点
知識・技能
思考・判断・表現

出題趣旨は、『令和四年度全国学力・学習状況調査 解説資料』に書かれている。
「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。」^{P23}である。
「根拠を明確」にした文章が書けるかどうかをみているのである。明確にするために引用がある。その引用は、①「 」を使う、②そのまま書き写す、という決まりがある。
その決まりが定着している生徒が、46.5%だった。

引用を何年生から教えるのか？

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」。「引用」を書かれているのは、何学年か？
第5学年及び第6学年である。

教科書は、引用を何年生から教えるのか？

小学3年生から。4, 5, 6年の教科書に引用を教えるページは毎年ある。

あつめるときに使おう
引用するとき

ひらがな、かたかな、漢字も同じように書きうつす。
そのまま書きうつしたことが、後で分かるようにしておく。(書きうつしたぶんにかぎをつけるとしてもよい。)

引用するとき

なぜ、正答率46.5%がショックなのか？

引用は、**学問の基本**だからである。人様の文、考え、研究成果を尊重しようという意識がないということである。



『理科系の作文技術』P161
他人の報告、データなどを**引用**するときには、必ずその出所を明示しなければならない。



『考える技術・書く技術』P94
出所は、正確に、そして書き落としがないように書く。うっかり書き落とししたときなど、あとで原点にたどり着くまでに、大変労するので、予防のために最善の努力を払うべきだ。



『論理的思考』P41
他の文章は正確に**引用**する文を書く。
(要約は、なるべく避ける)



『説得の文章技術』P16
アインシュタインや毛沢東など、**権威者の名前**をもちだし、その述べたことばを、適切な場所で**引用**すると、説得の効果を高める。

その一方、発表した友達の意見を引用している子供は、21名と多くはない。友達の意見を引用していないということは、対話的な学び、深い学びにつながっていないということである。対話的、深い学びにつなげていくことが課題である。

指導にあたっては、研究主題である「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」につなげるために、以下の2つを工夫する。

1つ目に、Google スプレッドシートである。Google スプレッドシートは、「すぐに」「全員の意見」が「一覧」できる。まず、児童に、ノートに意見を書かせる。次に、その意見を Google スプレッドシートに入力させる。そうすると、誰が、どのような意見を書いたのか、子供は一覧できる。

先に書いたとおり、本学級の子供は、友達の意見を引用することが課題である。Google スプレッドシートは、すべての子供の意見を一覧することができるので、今まで以上に、友達の意見を引用しやすくなるであろう。つまり、今まで以上に、対話的に学ぶようになる。

また、Google スプレッドシートは、発表が苦手な子供にとっても有効である。今までは、発表しなければ、自分の思いをクラス全員に伝えることができなかった。しかし、Google スプレッドシートを使えば、自分の意見を、全員に、文字で、伝えることができる。

さらに、授業の終わりにも、Google スプレッドシートを使わせる。授業で学んだことを、Google スプレッドシートに入力させる。そうすることで、友達がどのようなことを学んだのか、すぐに、共有できる。ノートに書かせた場合、子供が書いた文は、多くの場合、教師しか読むことができない。すぐに、全員で、共有することができない。学んだことを入力させた後、教師は、「友達の学びに、コメントを入力しなさい。」と指示する。授業時間が足りなければ、「家でコメントを入力しなさい。」と指示する。こうすることで、より対話的な学びへつながっていく。

なお、この指導の工夫は、以下とつながっている。

「児童がコンピューターや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること」

（「小学校学習指導要領」国語 指導計画の作成と内容の取扱い）

「人前で話すことへの不安を抱いている場合には、（略）ICT 機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。」

（「小学校学習指導要領」国語 指導計画の作成と内容の取扱い）

「ICT 端末は家庭に持ち帰って活用することで時間的・空間的な制約を超えた学びや創造的な学びを広げることができる。」

（文部科学省HP 家庭での ICT 端末の使い方を考えよう）

2つ目に、ループリックである。

ループリックとは、評価基準を示した表である。一般には次のような定義で説明されることが多い。

「課題に対するパフォーマンスの熟達レベルを質的に判断する指標」（石井英真『現代アメリカにおける学力形成論の展開』66 ページ 東信堂）

例えば、社会科で、次頁のループリックを使い、子供たちに学習させた。

子供たちにループリックを渡し、教師は「自分たちで、もしくは友達と一緒に学習しなさい。」と指示した。教師が驚くほど、子供たちは熱中して、自主的に学習を進めていた。



「大好き、ふるさと山口県 山口県内の伝とう・文化」

名前() ()月

| | <input checked="" type="checkbox"/> | (1)スタートレベル | <input checked="" type="checkbox"/> | (2)クリアレベル | <input checked="" type="checkbox"/> | (3)スーパーレベル |
|-----------|-------------------------------------|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 知る 調べる | <input type="checkbox"/> | 「文化ざい」の言葉の意味がノートに書いてある。 | <input type="checkbox"/> | 「きょう土芸のう」の言葉の意味がノートに書いてある。 | <input type="checkbox"/> | 「祭り」の言葉の意味がノートに書いてある。 |
| | <input type="checkbox"/> | 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」を、ノートに5個書いた。 ※山口県市町の地図を書く。 ※2つ以上、キーワードを書く。 | <input type="checkbox"/> | ②ワークテストで80点以上とれた。 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」を、ノートに10個書いた。 ※山口県市町の地図を書く。 ※2つ以上、キーワードを書く。  | <input type="checkbox"/> | ②ワークテストで90点以上とれた。 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」を、ノートに15個書いた。 Google Earthで、3つの文化ざい(建物)を見学した。(① ② ③) 自分が作った地図を見て、分かったことを書いた。 ※50字以上～100字以内 ※「人々の願いや努力」「わたしにできることは～」という言葉必ず入れる。 |
| 考える | <input type="checkbox"/> | 教科書P110～P111の年表を、小さな声で、全部読んだ。 道後温泉 ハツ鹿おどり 太鼓祭り 3つとも全て読む | <input type="checkbox"/> | 錦帯橋について、ジャムボードを使い、年表にまとめる。 ※教科書P110を参考にします。 ※GoogleClassroomに先生が作った、錦帯橋の資料があります。 | <input type="checkbox"/> | 自分で作った年表を見て、分かったことをスピーチした。 ※「地域の人が錦帯橋を守るために～をした」「山口県に住む私は、これから～をしたい」という言葉を必ず入れる。 ※スピーチは30秒～1分 |
| 学び方 | <input type="checkbox"/> | 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」について、HPで調べた。 | <input type="checkbox"/> | 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」について、家の人に聞いた。聞いたことをノートに書いた。 | <input type="checkbox"/> | 山口県の「文化ざい」「きょう土芸のう」「祭り」について、公民館や地域の方に聞いた。聞いたことをノートに書いた。 |

□できた人へのチャレンジ問題 錦帯橋以外の文化ざいを、年表にまとめてみよう。

教科書で調べる子供、地図帳で調べる子供、GoogleEarthで調べる子供、Jamboardでまとめる子供、ノートに地図を書きまとめる子供、調べたことを友達にスピーチする子供がいた。清末公民館に行きインタビューしてくる子供も11名いた。

教師が1つ1つ指示したり、説明したりしなくても、子供は自分たちで学習を進めていた。つまり、主体的な学びにつながっていた。ループリックで主体的な学びを続け、最終的にはループリックを必要としない自立した学習者につなげていきたい。

本単元では、以下のループリックを子供たちに渡す。

「プラタナスの木」

名前() ()月

| | <input checked="" type="checkbox"/> | (1)スタートレベル | <input checked="" type="checkbox"/> | (2)クリアレベル | <input checked="" type="checkbox"/> | (3)スーパーレベル |
|-----------|-------------------------------------|---|-------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 読む 調べる | <input type="checkbox"/> | 音読を5回した。 | <input type="checkbox"/> | 音読を10回した。 | <input type="checkbox"/> | 全文を9分以内で読めた。()分()秒 |
| | <input type="checkbox"/> | 辞書で、5つの言葉の意味を調べ、ノートに書いた。 | <input type="checkbox"/> | ワークテストで80点以上とれた。 辞書で、10個の言葉の意味を調べ、ノートに書いた。 | <input type="checkbox"/> | ワークテストで90点以上とれた。 辞書で調べた言葉から5個選んで、100字以上の物語文(自分で考えた物語)が書けた。 |
| 考える | <input type="checkbox"/> | 登場人物について、ノートに5行以上書いた。※引用する | <input type="checkbox"/> | 中心人物について、ノートに5行以上書いた。※引用する クライマックスについて、ノートに5行以上書いた。※引用する | <input type="checkbox"/> | 主題(この物語から伝わってくること)について、ノートに5行以上書いた。※引用する 「プラタナスの木」の主題(この物語から伝わってくること)を、先生か友達に1分以上スピーチした。 |
| | <input type="checkbox"/> | 場面1・2を、それぞれ25文字以内で要約した。 ※スプレッドシートに入力 | <input type="checkbox"/> | 場面3・4・5を、それぞれ25文字以内で要約した。※スプレッドシートに入力 | <input type="checkbox"/> | 友達の要約を読んで、3人以上に質問しに行く。※質問したことを、スプレッドシートに入力 |

伝える

話し合い(①②③、自分はいくつできたかな?)
①ノートに5行以上、自分の意見を書いた。※引用

②自分から立って、1回以上発言した。 ③「なるほど!」と思った意見を、ノートに3つ以上メモした。

| | | | | |
|-----|--|--|--|--|
| 日にち | | | | |
| 〇の数 | | | | |

引用のルール

- ①「 」
- ②そのまま映す
- ③教科書
- ④友達の見解
- ⑤辞書を引用します。

この言葉を使おう!

- 例えば、～。
- ～によると、
- もし、～なら
- つまり、

なお、この指導の工夫は、以下とつながっている。

「児童が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること」

「児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること」

「創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を超えて児童の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

（「小学校学習指導要領」総則 教育課程の充実と学習評価）

4 指導計画 全10時間

| 次 | 時間 | 学習活動 | 評価規準と評価方法 |
|-----|------|---|---|
| 第1次 | 1、2 | 全文音読・音読練習をする。 場面分けをする。 | 【知識及び技能】文章の内容の大体を意識しながら音読する。[観察] |
| 第2次 | 3～7 | ルーズブリックをもとに、自分で、もしくはグループで学習する。 ※学習内容はルーズブリック参照 | 【態度】「プラタナスの木」を進んで読もうとしている。[観察・ルーズブリック] 【知識及び技能】辞書を使い、意味を調べることができる。[ノート・観察・ルーズブリック] 【思考力、判断力、表現力B】感じたことや想像したことを書く。[ノート・ルーズブリック] 【知識及び技能】引用を正しく使う。[ノート・ルーズブリック] 【思考力、判断力、表現力B】自分の考えとそれを支える理由を明確にして書く。[ノート・ルーズブリック] 【思考力、判断力、表現力C】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。[ノート・Google スプレッドシート・ルーズブリック] 【思考力、判断力、表現力C】文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。[スピーチ・ルーズブリック] |
| 第3次 | 8～10 | 登場人物の気持ちの変化を読み取る。 (本時 9/10 時間) | 【思考力、判断力、表現力B】自分の考えとそれを支える理由を明確にして書く。[ノート・Google スプレッドシート] 【思考力、判断力、表現力A】相手に伝わるように、理由を挙げて話す。[発言] 【思考力、判断力、表現力C】登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりを結び付けて具体的に想像することができる。[ノート・Google スプレッドシート・発言] 【思考力、判断力、表現力C】文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。[ノート・Google スプレッドシート・発言] |

5 本時案 (9/10)

(1) 日 時 令和4年11月16日(水曜日) 5校時

(2) 場 所 体育館

(3) 本時のねらい

○登場人物の気持ちの変化について、叙述をもとに自分の考えをもつことができる。

(4) 視 点

① Google スプレッドシートを使わせることは、対話的な学びとして適切か

② ルーブリックを使わせることは、主体的な学びとして適切か

(5) 本時の流れ

| 本時の流れ | 指導上の留意点 |
|--|---|
| <p>1 漢字の練習をする。</p> <p>2 教科書(自分がクライマックスと思う場面)を音読する。</p> <p>3 クライマックスは何場面か選ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>マーちゃんの気持ちが変わったのは、何場面か。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2、3、4、5場面。 <p>4 Google スプレッドシートの友達の意見(前時に入力)に対して、質問、賛成意見、反対意見をノートに書く。</p> <p>5 マーちゃんの気持ちが一番大きく変わったのは何場面か話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小集団で話し合いをする。 ・ クラス全体で話し合いをする。 <p>6 今日の授業で学んだことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーブリックに○をつける ・ Google スプレッドシートに書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間5分程度の練習時間を確保することで、学習の定着を図ることができるようにさせる。 ・ すらすら読む力をつけさせるために、スピード音読をさせる。 ・ 前時の学習の続きである。 ・ 「マーちゃんの気持ちが変わったのは、何場面ですか。」と発問した後、マーちゃんの気持ちは、2～5場面全てで変化していることを伝える。その上で、「一番変わったのかどこですか。」と発問する。 ・ 質問、賛成意見、反対意見をノートに書かせる際、○ページの○行目、引用の「 」を必ず書かせる。 ・ 主体的な学びに繋がるよう、教師はなるべく発言しないようにする。 ・ 発表した友達の意見、Google スプレッドシートに書かれた友達の意見を引用させる。 ・ 友達が書いた文を読み、家でコメントするように伝える。 |

(6) 評 価

・登場人物の気持ちの変化について、叙述をもとに自分の考えをもつことができたか。(Google スプレッドシート、ノート、発言)